

★ 井上靖文学の世界を守り伝える

野分の会会長 長谷川 千明さん (日野郡日南町神福)

井上靖は、生涯で800を超える優れた作品を世に送り出し、芥川賞、日本芸術院賞、文化勲章など数々の賞を受賞した、日本を代表する文豪です。『風林火山』、『天平の甕』、『敦煌』など、映画やテレビドラマになった作品をご覧になったことのある方も多いことでしょう。

自然豊かな日南町福栄地区の小高い丘の上に、井上靖記念館「野分の館」があります。皆さんは、なぜ、この有名な文豪の記念館が福栄にあるかご存じでしょうか？

実は、靖は、第二次世界大戦末期の昭和20年6月から終戦後の12月まで、福栄にふみ夫人と4人の子どもたちを疎開させ、自身も当地を何度も訪れました。随筆『中国山脈の尾根の村』には、終戦直後に福栄で過ごした半月を、「神さまが下さった休暇であったような気がする」と記しています。

また、福栄を舞台にした小説『通夜の客』では、この地を「天に近い、天体の植民地のような村」と表現、映画化されたことで、福栄の美しい情景や温かな人情が広く全国に知られることとなりました。

昭和60年に完成した総檜造の六角形の記念館を、靖自ら「野分の館」と命名。自筆の原稿など貴重な資料が展示されています。ちなみに、「野分」とは、福栄で秋から冬にかけて吹く北西の風のことで、靖の作品の中にたびたび登場します。



自筆原稿
などの展示品

この記念館の運営を担っているのが平成21年に発足した「野分の会」です。福栄の皆さんを中心に20代から90代まで21名の会員からなり、命日の碑前祭、芝桜の植栽、周辺の美化活動、他道府県の団体との交流など幅広い活動を行っています。一家が暮らした「曾根の家」はなくなり生前の靖を知っている人も少なくなりましたが、小説に登場する屋号を各家屋に表示したり、靖や家族とのエピソードを文章に綴るなどして、靖が暮らした福栄を後世に残す取組をしています。昨年は当時生後1か月だった二女の佳子さんが訪ねて来られるなど、今は亡き文豪との縁を大切に育んでいます。

日野振興局 地域振興課
電話：0859-72-2086 FAX:0859-72-2072

疎開の下見のために井上先生がお世話役の家に来られた時、辿り着いたのは夜で、「井上です。やっと着きました。」という声で門を開けたそうです。
戦中の物資不足で砂糖が手に入らない中、用意された塩たもちを、先生は嬉しそうに召し上がった、と聞いています。お腹も空いておられたことでしょう。



初代会長の伊田美和子さん(左)と3代会長の長谷川千明さん(右) (於伊田初代会長邸)



井上靖記念館周辺の雪かきをする長谷川会長

河川・道路ボランティアの皆さんを応援します！



鳥取県では、県管理の道路、河川、公園の清掃・除草等をしてくださる活動団体(鳥取県土木施設愛護ボランティア)を募集し、支援を行っています。日野地区では、現在、34団体がこの支援を利用しています。皆さんの身近にある環境の美化や維持管理の活動をお考えの場合は、ぜひご応募ください。

募集する
活動内容

- 道路の清掃、除草又は植栽管理もしくは歩道除雪
- 河川の清掃、除草又は植栽管理
- 公園の整地、清掃、除草又は植栽管理



参画型ボランティア促進事業

自主的な環境美化等(清掃・除草・除雪等)を行う団体に対し、活動の実施に必要な援助を行います。
【支援条件】
人数・活動規模は問いません。青年団、老人会、スポーツ同好会等の任意の団体でご応募ください。

【奨励金】
参加者 100円/人・時間
草刈機等 100円/台・時間
(上限10万円/年)

協働型ボランティア促進事業

県とのパートナーシップに基づいて協定を結び、一定区間の維持管理(除草、植栽管理、除雪等)を行う団体の活動を支援します。
【支援条件】
青年団、老人会等の任意団体かつ10名以上でご応募ください。
活動規模:道路 0.5km以上、河川 0.2ha以上、植栽枺 50m以上

【交付金】
河川・道路・公園等 40円/m²
植栽枺 500円/m²、歩道除雪 20円/m²
(上限40万円/年、ただし歩道除雪は20万円/年)

スーパーボランティア支援事業

公園、河川敷等を活用した地域づくりや賑わい創出の活動と併せて、適切な維持管理を継続して行う団体の活動を支援します。
【支援条件】
活動規模:活用する公共空間の範囲
※鳥取県土木施設愛護ボランティアに登録している団体で、過去に活動区域において地域づくりや賑わい創出を目的とした活動を行った実績のある団体が対象です。

【交付金】
河川・道路・公園等 40円/m²
植栽枺 500円/m² (上限60万円/年)
【簡易施設設置交付金】
施設設置の原材料費等の額
(1団体につき50万円まで)

※事前にボランティア団体の登録及び協定の締結(参画型ボランティアを除く)が必要です。詳しくは、下記までお問い合わせください。

日野振興センターだより 日野県土整備局 維持管理課 電話:0859-72-2046 FAX:0859-72-2092

林業の成長産業化で、日野郡の森林を元気に!
~高機能木質材料の生産開始~



日野川の森林木材団地(日南町下石見)

県内最大級の木材集積基地である「日野川の森林木材団地」に、高機能の木質材料を製造する工場が令和2年11月に新設され、日野郡の林業の更なる活性化が期待されています。



LVL用単板を薬剤含浸装置に投入するところ(令和2年11月2日 新工場起動手)

「日野川の森林木材団地」内に新設された防腐防蟻LVL用単板生産工場(日南大建株式会社)は、単板積層材LVL※(県産スギ/ヒノキが原料)を製造する株式会社オロチと連携して、腐りにくく、シロアリ被害に強い木質材料(防腐・防蟻LVL)の生産を開始します。生産される防腐・防蟻LVLは、住宅の土台など、シロアリ被害に遭いやすい部材への使用が期待されており、これから全国各地へ出荷されることになります。

この工場が稼働することで、LVLの利用拡大により地元の木材の流通が活性化したり、雇用創出(関係企業含めて約10名雇用)につながるなど、日野郡の林業が更に発展することになります。



LVLの単板に薬剤注入で防腐・防蟻処理を施し、積層接着、裁断、表面仕上げ等の加工をした高機能木質材料。住宅の土台等に利用することで、住宅の長寿命化に寄与すると期待されている。

※LVL(Laminated Veneer Lumber:単板積層材)
丸太をかつら剥きした厚さ2~4mmの単板を積層接着した木質材料。含水率の低い完全乾燥材で、高い耐震性能、耐久性を持ち、柱・梁・土台等の主要構造材として使用される。

日野振興局 農林業振興課 電話:0859-72-2021 FAX:0859-72-2125

祝 結果発表 日野川フォトコンテスト2020

主催 日野川の源流と流域を守る会

日野川の源流と流域を守る会は、日野川の自然を守り、恵まれた環境を次世代に引き継ぐとともに、源流と流域の自然を守り、日野川を日本一美しい川にすることを目的として平成14年に設立されました。

当会では、この美しい日野川を多くの方々へ親しんでいただくため、例年、日野川フォトコンテストを実施しています。

この度のフォトコンテストから、気軽に参加していただきやすいように、スマホ部門(スマホ、携帯電話等での撮影)を新設しました。

一般部門、スマホ部門共に多くの応募をいただき、厳正な審査の結果、選ばれた各部門のグランプリ作品を御紹介します。是非ご覧ください。

※その他の入賞作品は、当会のHP
<https://www.pref.tottori.lg.jp/64680.htm>
もしくはQRコードからご覧ください。

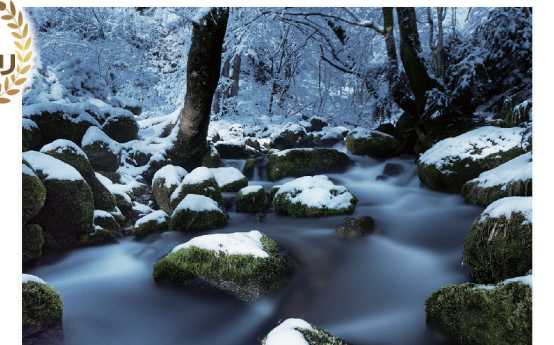


日野川の源流と流域を守る会では「会員大募集中」です。お申し込み方法や会費などについては、下記問い合わせ先までお願いします。

日野川の源流と流域を守る会事務局(日野振興センター日野振興局内) 電話:0859-72-2081 FAX:0859-72-2072



「静かな夜」
小島 憲二さん



「深山溪流瞬の光芒」
月本 勝稔さん

